

報 道 配 布 資 料

平成 24 年(2012 年)7 月 4 日

所 属 名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連 絡 先
山口県立大学	学 長 えさと けんすけ 江里 健輔	国際文化学 研究科長 すすき たかやす 鈴木 隆泰	国際文化学研究科 教授 みずたに ゆみこ 水谷 由美子	083-928-5637
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、 萩、首都圏			

1 件 名

廻船のまち阿知須 ― 山口流まちづくりの 交流・創造・発信

2 趣 旨

かつて廻船業で栄えた阿知須を舞台に、山口県立大学大学院と【廻船の〈まち・人・生き生き〉プロジェクト】実行委員会との共同事業で、標記のシンポジウム及び展覧会を実施します。

シンポジウムでは、パネラーから国内外の地域における農村開発や芸術文化によるまちづくりが紹介されます。

そして、大学院生による実践的研究成果として阿知須地域の振興に関する提言や商品開発などの作品提案の後に、地域の皆様と一緒に、「廻船のまち阿知須」の生き生きとした地域文化創造について語り合います。

(地域に広く公開し、地域の皆様と共に意見を交換します)

3 日 時

シンポジウム 平成 24 年 7 月 25 日 (水) 18:00~20:30

展 覧 会 平成 24 年 7 月 27 日 (金) ~ 8 月 5 日 (日) 10:00~16:00

4 場 所

阿知須いぐらの館 (旧中川家住宅)

〒754-1277 山口市阿知須縄田北 3425

5 登壇者

コーディネーター 水谷 由美子 (山口県立大学国際文化学研究科教授)

パネラー 高田 昌幸 (地域づくりコーディネーター・下関市)

西崎 博史 (周南市文化会館館長・周南市)

斉藤 郁夫 (山口県立美術館副館長・山口市)

後藤 秀樹 (彫刻家・美祢市)

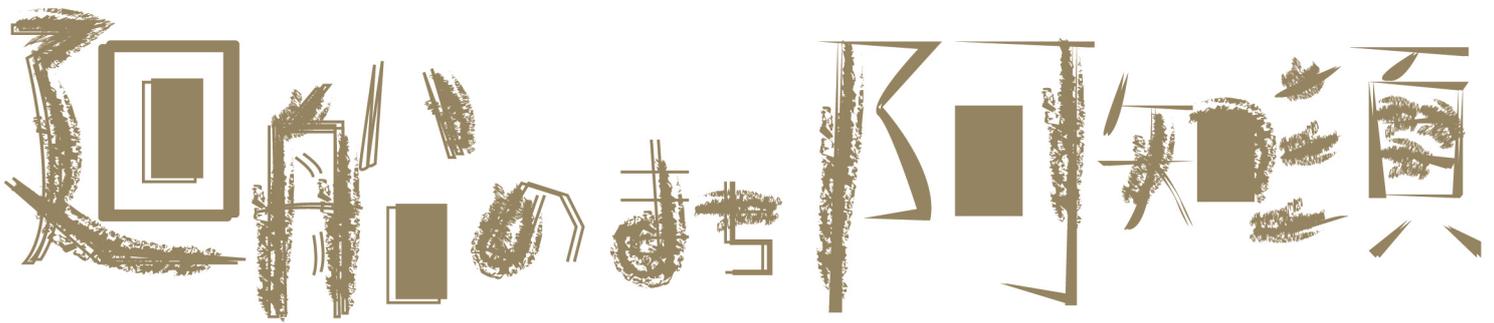
研究創作発表 山口県立大学大学院国際文化学研究科 1 年次生

6 問合先

国際文化学研究科 教授 水谷由美子

083-928-2550

myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp



山口流まちづくりの 交流・創造・発信

シンポジウム

2012 7, 25

PM 5:00 臨時開館 PM6:30 開演

(wed)

入場無料

展覧会

2012 7, 27

AM10:00~PM4:00 休館日 水・木

(fri) ~ 8, 5 (sun)

場所：阿知須いぐらの館

〒754-1277 山口市阿知須縄田北 3425

コーディネーター：水谷 由美子（山口県立大学大学院国際文化学研究科教授）

パネラー：高田 昌幸（地域づくりコーディネーター・下関市）

西崎 博史（周南市文化会館館長・周南市）

斉藤 郁夫（山口県立美術館副館長・山口市）

後藤 秀樹（彫刻家・美祿市）

研究創作発表：文化コーディネート論 受講生

本年度はかつて廻船業で栄えた阿知須を舞台に、山口県立大学大学院と【廻船の〈まち・人・生き生き〉プロジェクト】実行委員会共同事業で文化コーディネーター論公開授業としてシンポジウムと展覧会を実施します。

パネラーによって国内外の地域における農村開発や芸術文化によるまちづくりが紹介されます。大学院生による実践的研究成果としての阿知須地域振興に関する提言や商品開発などの作品提案などに基づき、地域の皆様と一緒に、廻船のまち阿知須の生き生きとした地域文化創造について語り合いたいと思います。皆様お誘い合わせの上で来場下さいますようお願い申し上げます。

シンポジウム

7月25日(水)
PM6:00~8:30

7月25日は、
PM 5:00より
臨時開館

作品展

7月27日(金)~
8月5日(日)

AM10:00~PM4:00
休館日：水・木

場所

山口市阿知須編田北 3425
阿知須いぐらの館
Tel&Fax
0836-65-2403
E-mail
kyu-naka@c-able.ne.jp

1 開発援助と異文化交流：地域づくりとは地域のしくみをつくること

高田 昌幸 (地域づくりコーディネーター)

地域の再生には、5つの状況が必要だ。これらの状況が連鎖的に反応することで、地域には「地域のしくみ」が育つ。直接携わったエチオピアの農村開発プロジェクトを例に、「地域のしくみ」をどうやって育てるのかを紹介する。

2 舞台芸術とアートマネジメント：地域の独自色を生かす

西崎 博史 (周南市文化会館館長)

人間の視点を超えて草花や昆虫、石ころ、ほこりまで宇宙に存在するありとあらゆるものに等しく価値を認める詩人まど・みちお。詩と歌と絵を通してその普遍的な世界を、ふるさと周南から日本各地へと伝えていく。

3 芸術による地域文化創造：文化の「場」を創り出す

斉藤 郁夫 (山口県立美術館副館長)

高度消費社会、高度情報化社会のなかでの「文化」のあり方を考える授業をしてきた。美術館が文化的な場でありつづけるためには何が必要か、ということを見聞自答しながらの美術館の取り組みを紹介する。

4 地域資源を生かしたまちづくり：地域資源と文化

後藤 秀樹 (彫刻家)

地域資源を使った産業、文化活動を、地域の恒例行事として定着させることで、オンリーワンの地域づくりを進めるイタリアの田舎街についての具体的な事例を挙げる。そこで重要な住民と訪問者などの関係について紹介する。

5 院生のプレゼンテーション 1

ひなもんにみる課題とこれからの展望

呉 曉良 田村 洋子 中村 彩佳

私たちは、いま阿知須で行われている「ひなもん」に着目した。この「ひなもん」を通して、これからのまちづくりがどのように発展していけば、もっと阿知須が面白いまちになるのか、それを私たちの視点から提案していきたいと思う。

6 院生のプレゼンテーション 2

廻船のまち「阿知須の防長三白十展」

佐伯 もなみ 水津 初美 山崎 珠菜

廻船のまち、阿知須の文化、街並の魅力が伝えられるような作品を目指し、廻船によって運ばれていた防長三白十、なかでも紙と綿に注目した。メンバー3名がそれらの素材を使用してプロダクト製品・布小物・衣服を制作した作品展と展示内容について紹介する。

7 廻船のまち阿知須のまちづくり 地域の皆様との意見交換 8 パネラーとフロアーとの意見交換

問合せ先

山口県立大学大学院国際文化学研究所 担当：水谷由美子
〒753-8502 山口市教員 3-2-1
Tel&Fax 083-928-2550
E-mail myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp

廻船の〈まち・人・生き生き〉プロジェクト実行委員会(阿知須地域交流センター内)
〒754-1292 山口市阿知須 2743 番地
Tel 0836-65-2022 Fax 0836-65-4013
E-mail ajisu@city.yamaguchi.lg.jp

アクセスマップ

